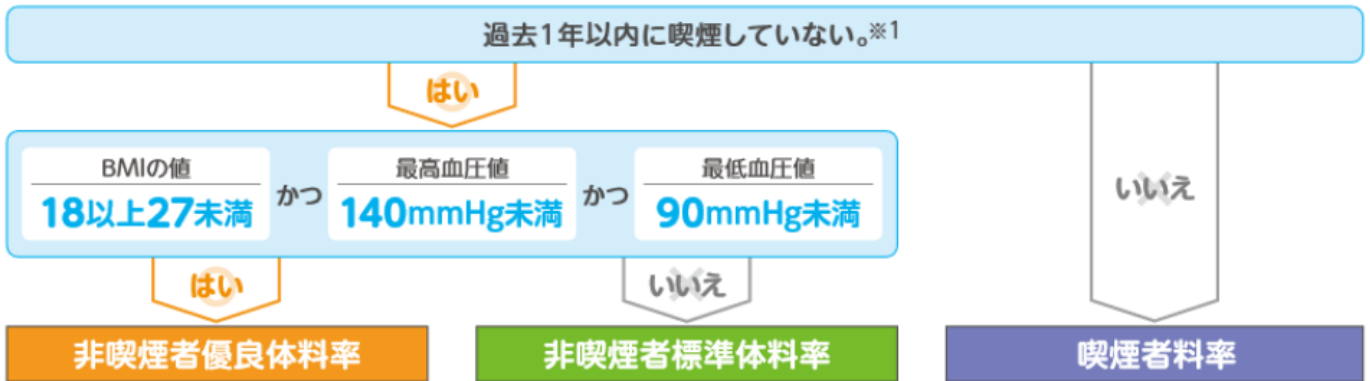


週刊 **タバコの正体**

皆さん、生命保険の事は知っているでしょうか。万が一の病気や不慮のケガ、または死亡した場合に備えた費用を前もって蓄えておく制度です。定期的に保険料を支払っておき、万が一の際の費用を保険金として受けとれるわけです。

●適用保険料率決定の流れ



●[保険料水準]



保険資料請求.COM メディケア生命紹介ページから

そんな保険に加入すると、一般的に毎月定額を保険料として支払います。その保険料は当人の健康状態によって決まる場合が多く、上図はその一例です。じつは、この例のように喫煙するかどうかで保険料率が変わるケースも少なくありません。つまり、タバコを吸っている人より吸わない人の方が健康だと評価され、上図の保険料水準を見ると、非喫煙者優良体料率より喫煙者料率が当然大きくなっています。具体的には、下図のように喫煙者はタバコを吸わない人の倍額近い保険料を支払う例もあるのです。

いかがでしょうか。皆さんはまだ家族の一員として養ってもらっていますが、いずれ自立し自分の家族の生計をたてて行くことになるでしょう。そうなれば、万が一に備え保険に加入する事も考えておかなければなりませんよね。

その際、もしタバコを吸い始めていては、高い保険料を支払う事になってしまいます。

保険料が割安になる例(男性30歳の場合)



タバコを吸わなければ健康なうえに安上がりだと心得ておいて下さい。